

浮説名橋櫻編



上

甲寅年舊

第三傳上卷

卷之三

与話情浮名横才

梅田舎好文化

一束高國芳画

案久堂梓



婦女の聲をう化粧をう事にはまく神代の昔に湯けの山
橋より白粉のもとよりハ持続事の時とてはまくゆくあて
舟り一「准よと見ゆそと紅粉被せゆる事」とい娘を朱ちの
船中坐す船を持てと見ひくわたりがくとみく朱ふらのども
そむき歌す櫻名の櫻がくお富士さう人情お彼の初絶を送
あらぬ御跡のあ諸君のうつまへうひと縁とゆぐりのめりしが
素よりふ夢見るやう僕と紅文庫のうづめをみだらに裕
元のねえれ毛みゆく一「只ゆくとゆきゆくゆくとゆくと
ゆくとゆくの満尾かきかきゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

梅田舎好文化

四六

梅田舎好文化

四六



菊

菊の 物語

菊の物語

清兵衛



今夜のとよへゆきをまつり

ひともだらむへやせぬか
おもあはうあらうへやせぬか
かうのめでてひちかねのくわ
合ひひてりゆきのそとを

かわらなむるねむだれ
おとらのとくへんくふ
あこぐれのとくへんくふ
とうへがきのとくへんくふ

おとらのとくへんくふ
あらすりまくらとくへんくふ
あらすりまくらとくへんくふ
じいわうかーとくへんくふ

おとらのとくへんくふ
あらすりまくらとくへんくふ
あらすりまくらとくへんくふ
じいわうかーとくへんくふ

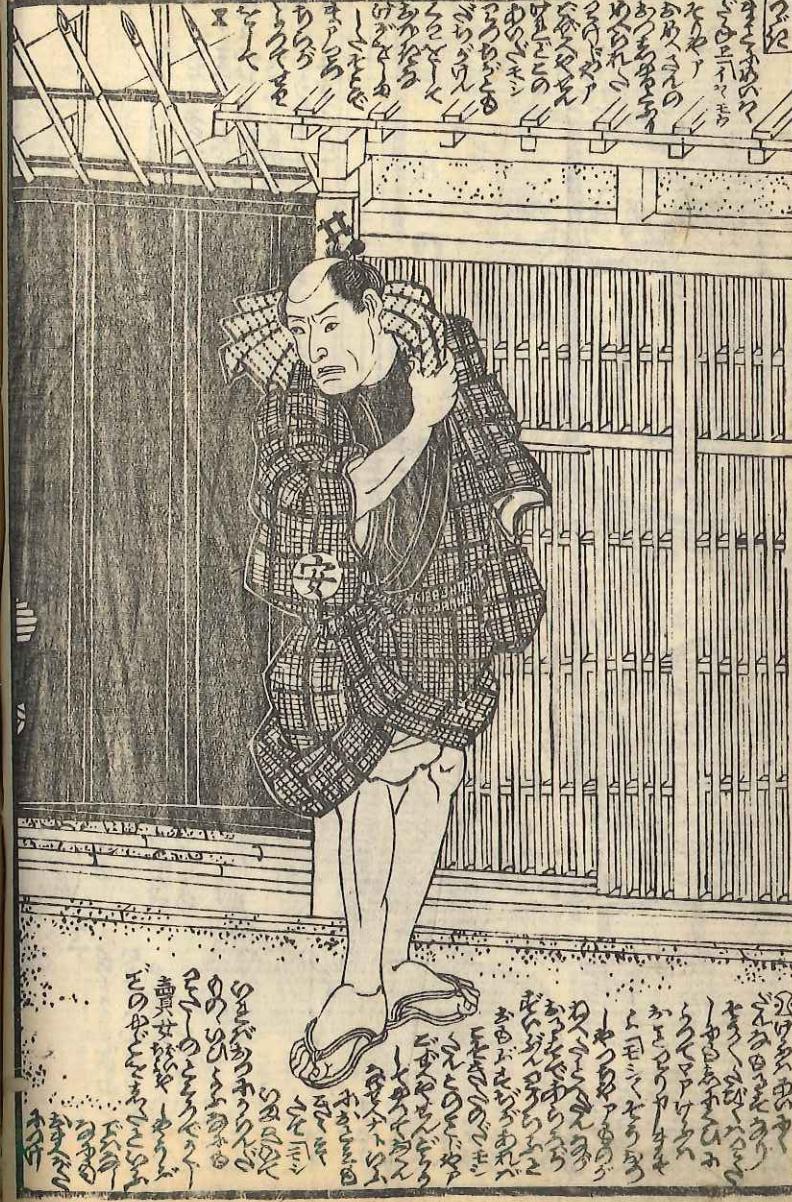
おとらのとくへんくふ
あらすりまくらとくへんくふ
あらすりまくらとくへんくふ
じいわうかーとくへんくふ











（此處不寫）





榮久堂刊行藏板略目

八大傳後日譚

六編

出板

爲永春水作

好文作

國芳画

御伽譚博多新織

四編

好文作

國芳画

花紅葉
解脫絹川

一名新名物語
三冊

文作

薄紫宇治曙

柳下亭種員作

一壽齋國貞画

七編

好文作

國芳画

三都妖婦傳

中本袋入
三編出板
四編五編副刻

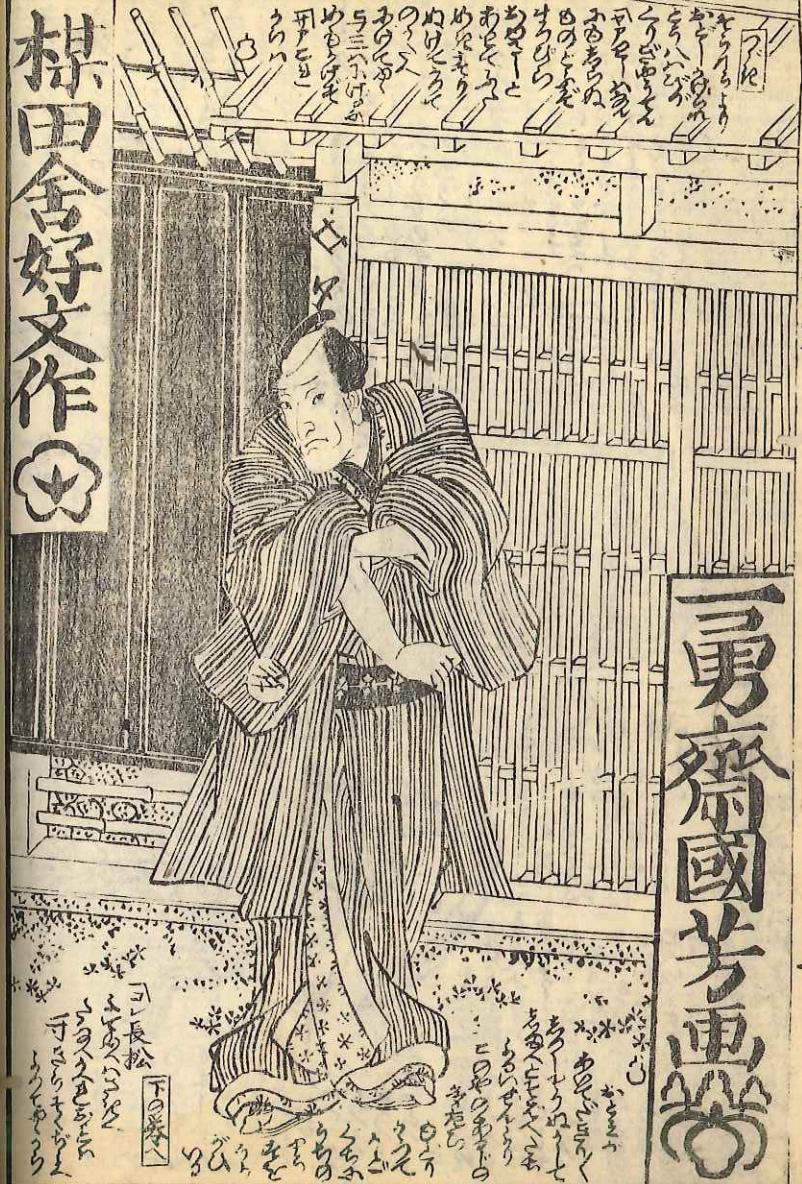
一陽齋豊國画

六編

種彦作

豐國畫

桙田舍好文作



一勇齋國芳画

